



KAKEHASHI Project (招へいプログラム) (対象国：米国, 一般交流(高校生・大学生)) の記録

1. プログラム概要

「対日理解促進交流プログラム」の一環として、米国より高校生・大学生 73 名が来日し、日本の政治、社会、歴史及び外交政策に関する理解促進や、日本の魅力等の積極的な発信を目指し、平成 28 年 1 月 19 日から 1 月 26 日までの 7 泊 8 日の日程でプログラムを実施しました。

2. 参加国・人数

米国 73 名

3. 訪問地

東京都(全員)、北海道(25 名)、大阪府・滋賀県(48 名)

4. 日程

1 月 19 日 (火) 成田国際空港より入国

1 月 20 日 (水) 来日時オリエンテーション

【日本の外交政策に関する講義】外務省北米局

【日本理解講義】明治大学

1 月 21 日 (木) ~ 1 月 23 日 (土)

2 つのグループに分かれ、各地方を訪問

1. グループ A・B : 大阪府・滋賀県

【企業訪問・視察】西島製作所

【地域交流・文化体験】ファームステイ、お箸作り体験・森林散策・べんがら塗り家屋視察・書道体験

【学校交流】同志社大学

2. グループ C : 北海道

【地場産業・文化視察】カルビーポテトチップス製造工場、北海道博物館

【地域交流】ホームステイ

【学校交流】立命館大学慶祥中学・高等学校

1 月 24 日 (日) 地方プログラム終了後、東京へ移動

【ワークショップ】報告会準備

1 月 25 日 (月) 報告会 (訪日成果・帰国後活動計画発表)

【最先端技術視察】日本科学未来館 (B・C グループ)

【歴史的建造物視察】浅草

1 月 26 日 (火) 成田国際空港より出国

5. JENESYS2015プログラム記録写真
 アメリカ(一般交流)訪日団第6陣の記録



1/20【日米関係理解講義】(東京)



1/20【日本理解講義】(東京)



1/22【学校交流】同志社大学(京都市)(A・Bグループ)



1/23【地域交流・文化体験】森林散策(高島市)(A・Bグループ)



1/23【地域交流・文化体験】書道体験(高島市)(A・Bグループ)



1/22【学校交流】立命館大学慶祥中学・高等学校(江別市)(Cグループ)



1/23【ホームステイ】(札幌市) (Cグループ)



1/25【報告会】(東京)

6. 参加者の感想

◆ アメリカ 大学生

日本滞在中、私は日本人が細部にも気を配り、また感謝することに感銘を覚えました。食事の作法と食事の準備のされ方、そして一日の終わりにゆっくりと入浴の仕方まで、すべての小さな事までがひとつの祝祭のように感じられました。酉島製作所の従業員の方の仕事への熱心な取り組み方、またガイドがドライバーを毎回賛辞で紹介することなど、アメリカで見過ごされてきたことが日本では実践されているように思われました。私が何か日本からアメリカに持ち帰ることができるとしたら、私が日本で目の当たりにした、そして世界の他の国々ではしばしば忘れられている、日々の生活に感謝する気持ちを選びたいと思います。

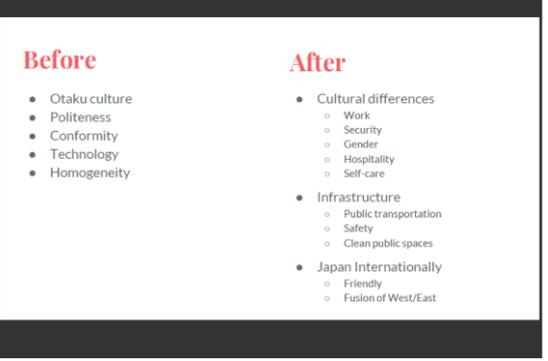
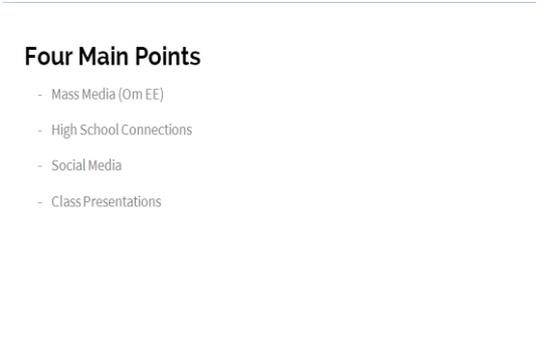
◆ アメリカ 大学生

私は日本の多面性に感心しました。最初に気付いたのは自然の美と町の中に溶け込む自然との融合でした。故郷のアラスカは自然の美に溢れていますが、町の中を通る川や多くの木々に圧倒されました。二つ目は日本人達が、私に対して接し、コミュニケーションを取ろうとしてくれる態度でした。日本語ができない私に、レジの人達は非常に親切で忍耐強く、多くが分かる英語を話してくれました。その意味で、日本人学生の英語のスキルには驚きましたし、自分は同じように日本語は操れないと感じました。日本の美しさと文化を皆と共有したいと思います。

◆ アメリカ 高校生

私が最も印象に残ったことは日本人のおもてなしの心とやさしさです。たとえば駅で道に迷っていた時に見知らぬ日本人に尋ねたところわざわざ歩いて目的地までついてきてくれました。またホームステイでは温泉など日本の文化、社会を知る様々な所に連れて行ってもらい歓待を受けました。この日本人特有の人に対する心配りは私の心に刻み込まれ必ず私の知人、友人、あらゆる人に経験したことを伝えていくつもりです。

7. 参加者の帰国後の発信内容

 <p>Economy</p> <p>International Relations</p> <ul style="list-style-type: none"> • Third highest nominal GDP • Technology exporter • Natural resources importer • Innovative & detail-oriented 	 <p>Action Plan</p> <ul style="list-style-type: none"> Facebook page dedicated to Kakehashi Project 2016 Article in Cornell Daily Sun Videos depicting the experience Snapchat stories and Instagram photos
<p>日本での気づき</p>	<p>アクションプラン</p>
 <p>Proposal: Japanese Ambassadors @ MIT</p> <ul style="list-style-type: none"> • Integration of ambassadorship + MIT values • Event series <ul style="list-style-type: none"> ◦ High visibility (omatsuri, festival) ◦ Keynote speakers (Abenomics, politics, architecture) ◦ Cultural immersion (ikebana, tea ceremony, food making) • Resource center <ul style="list-style-type: none"> ◦ Skype exchange ◦ Student self-study ◦ Japanese career fair • Continue collaboration with JICE 	 <p>Before</p> <ul style="list-style-type: none"> • Otaku culture • Politeness • Conformity • Technology • Homogeneity <p>After</p> <ul style="list-style-type: none"> • Cultural differences <ul style="list-style-type: none"> ◦ Work ◦ Security ◦ Gender ◦ Hospitality ◦ Self-care • Infrastructure <ul style="list-style-type: none"> ◦ Public transportation ◦ Safety ◦ Clean public spaces • Japan Internationally <ul style="list-style-type: none"> ◦ Friendly ◦ Fusion of West/East
<p>日本での気づき</p>	<p>アクションプラン</p>
 <p>Homestay Experience</p> <p>Four Main Points</p> <ul style="list-style-type: none"> - Mass Media (Om EE) - High School Connections - Social Media - Class Presentations 	 <p>Homestay Experience</p> <p>Four Main Points</p> <ul style="list-style-type: none"> - Mass Media (Om EE) - High School Connections - Social Media - Class Presentations
<p>日本での気づき</p>	<p>アクションプラン</p>